

年間活動報告書～途中経過 100 名からのレポート～

庭園やオープニングガーデンの  
訪問先ランキング 2021

(回答:28 名)

- 1 位 花の拠点「はなふる」(恵庭市) 10 名  
2 位 イコロの森(苫小牧市) 3 名  
2 位 大通公園(札幌市) 3 名  
2 位 百合が原公園(札幌市) 3 名  
5 位 上野ファーム(旭川市) 2 名  
5 位 平岡樹芸センター(札幌市) 2 名

その他

市役所本庁舎前(札幌市)、白い恋人パーク(札幌市)、いわみざわ公園(岩見沢市)、ローズガーデンちっぷべつ(秩父別町)、ひまわりの里(北竜町)、ゆにガーデン(由仁町)

活動場所レポート

■個人宅の庭や壁面などの緑化 88 名

自分たちだけでなく、道行く人にも楽しんでもらえるように活動しました。マンション共用部など、人の往来が多い場所の花壇管理をシーズン中はほぼ毎日行ったという方が多かったです。特に、昨夏は雨が降らず暑かったので水やりが大変でした。

■街路ますや公園花壇などの地域の緑化 69 名

そのうち 51 名は、個人または公園や町内会などに所属して公共施設の緑化を行い、32 名が街路ますの緑化を行ったそうです。

■公園・街路・緑地等の巡視活動や清掃活動 17 名

公園や空き地、ごみステーションの雑草取りや散乱したごみを拾い、片づけをされたそうです。一部の人による活動にとどまらず、「きれいな街にしたい」という思いがたくさんの方に広がって欲しいですね。

■講習会やイベントへの参加 35 名

宿根草のガーデンデザイン講習会やさっぽろ花と緑のまちづくりフォーラム 2021 をオンラインで受講した方も。事務局主催のイベントは少なかったですが、他の団体が主催している講習会を受講された方もいらしたようです。

今春開催！ガーデンフェスタ北海道 2022

開催期間：2022 年 6 月 25 日(土)～7 月 24 日(日)

ガーデンフェスタ北海道 2022 のメイン会場は、恵庭市の花の拠点「はなふる」です。札幌市内では、百合が原公園、滝野すずらん丘陵公園、真駒内公園が協賛会場、大通公園はスポット会場となっています。



▲花の拠点「はなふる」

登録更新の手続きはお済みですか？

さっぽろタウンガーデナー、花と緑のボランティア団体の登録期間は 1 年間(1 月～12 月)です。タウンガーデナーは「年間活動報告書」、団体は「登録更新申請書」の提出をもって登録継続となります。継続希望で未提出の方は、更新書類の提出をお願いいたします。



News letter vol.60  
2022 Winter  
花と緑のネットワーク通信

新春とはいえ、春が待ち遠しい寒さが続きますね。ご自宅で来春の花壇計画を立てている方もいらっしゃるでしょうか。今回は、主催事業のご報告、イベントの告知、さっぽろタウンガーデナーや登録団体のみなさんの活動の様子などをご紹介します。



Report

「押し花のフローティングフレーム」と「苔玉づくり」の体験会を実施しました

自宅に送られた材料を使い、好きな時間に動画を視聴して作品づくりができるオンライン体験会を実施しました。

「押し花のフローティングフレーム」では、タウンガーデナーの有志に、自宅や活動場所で採取した花や葉などで作っていただいた押し花を使用しました。「苔玉づくり」では、苔玉サポーターの有志が動画撮影を手伝ってくれました。

ご協力下さったみなさん、ありがとうございました！参加者からは「押し花の可愛さに感動した」、「来春は、押し花にできる花を育てたい」、「押し花がきれいで嬉しい」、「動画が分かりやすかった」、「自宅の植物でも苔玉作りに挑戦してみます」などの嬉しい感想が寄せられました。このほか、「自宅に居ながら参加できる講習会がある」、「自由な時間に体験できてよかった」という声もあり、それぞれの事情で、普段の講習会に



▲押し花のクリスマスツリー



▲苔玉でお正月

参加できない方からも感想をいただき、オンライン体験会を実施して良かったと感じました。また、SNS 投稿に慣れた方からは、こちらが撮り方を教えて欲しいくらいの”映える”作品写真をお送りいただきました。



▼空を背景に撮影



▲押し花にドライオレンジを加えて作製

苔玉サポーターの西区 K さん

苔玉サポーターとして、オンライン体験会の動画撮影にご協力いただきました。活動先の「ラポール 24 軒花愛会」でも苔玉とリースづくりの講習会を行い、苔玉は男性メンバーから大変好評だったようです。

白石区 S さん

シロタエギクを使用してリースを作りました。普段からInstagram 投稿をしている S さんは、写真の撮り方もお上手ですね。



さっぽろ花と緑のネットワーク イベント予告

■種の交換会・さっぽろ花と緑のまちづくりフォーラム 2021 上映会  
(無料・要申込)

3 月 3 日(木)  
場所：市民交流プラザ・SCARTS スタジオ 1・2

■種まき・育苗を教える人になろう(全 3 回)  
(無料・要申込)

2 月 8 日(火)、3 月 8 日(火)、3 月 25 日(金)  
場所：豊平公園、白石区複合庁舎内

■さっぽろ花と緑のネットワークフェア  
(入場無料・一部有料)

3 月 18 日(金)、3 月 19 日(土)

場所：チカホ・北 1 条イベントスペース東  
さっぽろ花と緑のネットワーク及び花と緑のボランティア団体の PR イベントを行います。

■花と緑のボランティア団体パネル展示■活動写真のスライドショー・動画上映■ボタニカルインテリアづくりなど

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、規模縮小、内容の変更、中止等の措置をとる可能性があります。

Information

さっぽろ花と緑のネットワーク登録状況 2021 年 12 月 31 日現在

さっぽろタウンガーデナー (323 名)					
中央区	55 名	北区	45 名	東区	40 名
白石区	27 名	厚別区	21 名	豊平区	35 名
清田区	13 名	南区	23 名	西区	25 名
手稲区	28 名	その他	11 名		
花と緑のボランティア団体 (全 34 団体)					

新たに仲間になりました！  
新規登録  
タウンガーデナー 12 名

SNS も見てね！



発行・編集

さっぽろ花と緑のネットワーク事務局  
札幌市中央区北 1 条東 1 丁目ニューワンビル 4 階  
(公財)札幌市公園緑化協会内  
WEB: <https://www.sapporo-park.or.jp/flowers/>  
TEL: 011-251-3309 FAX: 011-211-2577  
E-mail: [flowers@sapporo-park.or.jp](mailto:flowers@sapporo-park.or.jp)  
主催 札幌市建設局みどりの推進部



編集後記

年末の雪で、すっかり冬になりましたね。少し先になりますが、3 月に種の交換会や花と緑のネットワークフェアなどのイベントを予定しています。街なかまで仲間に会いにちょっと遊びに来ませんか。(武田可)  
クラフト製作で 2 つの団体さんへ行きました。剪定枝もひと工夫すると、何気ない暮らしを豊かにしてくれました。今年も育てて利用して、花壇を存分に楽しみましょう。(齋藤)



## 宿根草のガーデンデザイン講習会を行いました

今回は、中級～上級者編として、これから花壇に宿根草を取り入れたい方や宿根草の花壇管理に悩まれている方、花壇をレベルアップしたい方におすすめの講習会として開催しました。「イコロの森」ヘッドガーデナーの高林 初さんを講師に迎え、全3回の講習会を行いました。第1回は宿根草花壇の基本計画、第2回は植栽図の描き方、第3回は植栽後の花壇管理について、講師の経験を交えながら、イコロの森や施工現場での写真を用いて講義を行いました。参加者は、自身の活動場所と重ねながら受講しているようすで、熱心にメモを取っている姿も多く見られました。「冬の間にデザインを練り直し、春からの活動に取り入れたい」「プロのガーデナーの話が聞けて嬉しい」などの感想をいただきました。今後の花壇づくりに活かされると嬉しく思います。また、オンライン受講者の中には、平日の講習会に参加できない方やベテランガーデナーさんの参加もあり、各々、有意義な時間となったようです。

### 宿根草と一年草との混植



宿根草の花壇に一年草を混ぜて植える場合は、他の宿根草と草丈や雰囲気に合わせて選びましょう。写真は、イコロの森のホワイトガーデンで、宿根草の間に一年草のオルラヤを植栽している例です。

### 支柱の使い方



支柱は目立たずナチュラルに！草丈が低い時期に、シラカバなどの剪定枝を株の周りに数本挿し、細い枝を編み込んで支える方法で「ピースティック」というそうです。生長すると見えなくなるように計算されており、支えにもなる。まさにプロの技です。

### 宿根草の株分け

#### あなたは春派？秋派？

春に株分けをすると、すぐに根を伸ばすことができますが、根毛を乾燥させないように、天気によっては保護が必要です。秋に株分けをすると、すぐに休眠期に入るため生長しませんが、根を傷めたことへのリスクは低いです。結論は、どちらでも行いやすい方法で。ということに。さて、あなたはどちら派ですか。

## Report 技術指導講師派遣に行ってきました

今回の講師派遣では、団体の活動場所での剪定枝や冬前に切り戻した草花なども使用しました。このように、そのまま捨てるのではなく有効に再利用するだけでも、SDGsに貢献できますね。

### ナチュラルなスワッグを作ろう 清田区

派遣先：花と緑のEGG(エッグ)  
講師：齋藤 聡子（花と緑のネットワーク）

活動先のイネーブルガーデンで育てた植物と野原で摘んだ野草をドライフラワーにしたものを使用して、ナチュラルなスワッグを作りました。コロナ禍の今シーズン。ガーデンでの活動はほとんどできませんでしたが、集まることに感謝しながら楽しく手を動かしました。はじめてのスワッグづくりでしたが、作品の出来栄にはみなさん大満足の様子でした。



### ガーデンのコニファーを使ってクリスマスクラフトを作ろう 豊平区

派遣先：ゆめガーデンサポーターズ  
講師：齋藤 聡子（花と緑のネットワーク）

ゆめガーデンのシンボルツリーとなっているプンゲンストウヒとハイビャクシンの剪定枝をクラフトの材料として再利用しました。最初は、葉が刺さると痛いプンゲンストウヒの扱いにみなさん戸惑い気味の様子でしたが、次第にアイデアが浮かび、次々と作品が完成しました。スワッグ、リース、テーブルアレンジなどメンバー同士で互いに作品を見せ合いながら、楽しい時間を過ごしました。



## 植栽図を活用し管理をしています ～ガーデニング リラの会～

ガーデニング リラの会では、花壇を50cm四方のメッシュ状に区別して植栽図を作成し、今の花壇を把握した上で春花壇、夏花壇の植栽計画を立てています。

10月27日の活動では、荷造りテープで花壇にメッシュをかけ、各グループが図面を見ながらチューリップの球根を植えていました。全4枚の植栽図は、毎年発行している会員向けの会報誌に掲載して共有しています。計画当初の花壇の姿を残し、全体で情報共有することで、人が入れ替わっても長くボランティア団体の活動を継続していくことができるのだと、改めて勉強になりました。ご自身の活動場所でも、植栽図を作って活用してみてくださいね。



## 宿根草を主に植栽している登録団体のガーデンをご紹介します

### ガーデニング リラの会 中央区

ホップやグラス、ホスタ、サルビアといった草丈の高い宿根草を背景に、パンジー、ジニア、ペチュニアなど毎年異なる一年草を選び、彩りを添えています。

### ゆめガーデンサポーターズ 豊平区

コニファーを主体に、ホスタ、アルケミラモリス、クリスマスローズなど優しい色合いの花と葉で構成されているガーデンです。

### 北ノ沢コミュニティガーデン 南区

アナベルとバラが咲き、ラムズイヤーとアルケミラモリスがガーデン全体に広がっています。

## 年間活動報告書からご紹介



### 手稲区 Iさん

一昨年から自宅の庭の改修を「余白のある庭」をテーマに行っています。ランダムかつ幾何学的に配置された宿根草は、手前にお気に入りを集めています。奥の方は、今後一年草の種まきで手間を省きつつボリュームアップを図りたいです。

みなさんからお送りいただいた写真から、一部をご紹介します。

### 北区 Kさん・Sさん

同じマンションのお二人。コロナ禍をきっかけに、手つかずの花壇の再生をはじめました。シバザクラをまとめ、空いたスペースには、購入した苗とベランダで種まき育苗したマリーゴールド、マツバボタン、ペチュニア等を植えました。



Before



After

### 北広島市 Tさん



札幌市内の公園主催の講習会でリースを作りました。

### 手稲区 Kさん



自宅で栽培したホップをビールに入れて、贅沢一杯に。